

三菱自動車の中国合併企業①

三菱自動車の中国での事業展開についてお問い合わせが多いので、上海事務所での現地法人（製造会社）の概要を取りまとめました。

広汽長豊汽車股份有限公司

概要

大株主：広州汽車集団股份公司（29%）

長豊集団(集団)有限責任公司（21.98%）

三菱自動車工業株式会社（14.59%）

※ その他株主：湖南省信託等

製造拠点：長沙工場（湖南省）、永州基地（同）、衡陽基地（同）、
惠州基地（広東省）

開発拠点：長沙市（湖南省）、北京市

製造車種・台数： ※ 前身となる湖南長豊汽車の実績を含む。

車種	モデル	2008	2009	2010
乗用車	麒麟 (Kylin)	-	263	15
	獵豹 (Liebao)	-	23,264	28,157
	帕杰羅 (Pajero)	-	7,862	9,718
乗用車 Total		-	31,389	37,890

最近の動き（発表資料、報道資料等から作成）

2010年11月：広州汽車集団と三菱自動車は11月5日に覚書を締結。折半出資の合併会社を2011年6月に設立する計画で、最初の投入モデルはSUVになる見通し。また、広州汽車は、三菱との合併により再編される長豊汽車の親会社「長豊集団」との協力関係を維持する模様で、湖南省に両社の折半出資による自動車部品の投資会社や自動車物流会社を設立すると見られている。

2010年11月：広州汽車集団と三菱自動車は広汽長豊汽車に対する両社の出資比率（広汽29%、三菱14.59%）を双方ともに50%まで引き上げ、折半出資で合併会社を設立するとの報道あり。新合併会社は広汽長豊汽車の既存工場を利用したSUV生産工場になる見通しで、初投入モデルは三菱「RVR」を中国仕様にした「ASX 勁炫」となる見込み。

なお、広汽長豊汽車は上場廃止（上海証券取引所）となり、今後は自動車部品の生産業務に移行する見通し。

2010年10月：広汽長豊汽車は10月28日、筆頭株主である広州汽車の通知を受けて株取引を一時停止すると発表。広州汽車は長豊汽車の買収を計画中で、その影響による株価変動を回避するための措置。広州汽車は長豊汽車を買収した後、その生産設備を利用して三菱との合併事業に取り組む計画。

2010年7月：広汽長豊汽車は、2010年3月末で期限を迎えた三菱自動車との商標権契約が2010年末まで延長されたと表明。

2009年9月：広州汽車は長豊（集団）有限責任公司から湖南長豊汽車股份有限公司の株式29%を譲り受け、同社の名称を「広汽長豊汽車股份有限公司」に変更してグループ傘下に再編すると発表。

2009年6月：三菱自動車との技術提供に関する契約期間のうち、一部がすでに終了またはまもなく終了するとの公告を発表した。契約期間が終了するのは技術提携5項目のうち3項目で、残り2項目は引き続き提携を継続する内容。